

## あしプロアートノカケラタップダンスワークショップ



### ☆あしプロアートノカケラタップダンスワークショップ

#### <実施概要>

活動提供団体：NPO 法人 あしおとでつながろうプロジェクト

参加団体：放課後児童クラブ（38名）

実施日時：令和4年7月25日（月）10時～12時

実施場所：吉野町市民プラザ



会場到着時から元気いっぱいの放課後児童クラブの子どもたち！元気いっぱいの足取りで会場内へと入って行きました。

イベントがスタートすると早速 ASI-PRO の皆さんによる BTS 「Dynamite」 にのせたオープニングパフォーマンスが！子どもたちはタップダンスをちょっと物珍しそうに、しかし興味深そうに真剣にじっと見つめていました。楽しそうに披露されたダンスには終わった後自然と拍手が湧き起こりました。パフォーマンスが終わってからタップダンス付きのメンバー紹介がありました。今回参加いただいたのは、素敵な帽子が特徴的な代表のおどるなつこさん、笑顔が素敵ないとうすずのさん（なんとおどるなつこさんの娘さんとか！）、即席で曲をピアノで弾けてしまうジミーさん、優しさいっぱいのショートカットが似合うあべっちさん、高身長でとってもきさくにお話ししてくださるじぬっちさんです。他にもメンバーがいて、普段は月に2回ほど練習を行い、SNS 発信もされているようです。自己紹介が終わると、ジミーさんのピアノに合わせて子どもたちと一緒に準備体操です。子どもたちは自ら「こんな運動もあるよ！」と積極的に体操に取り組んで身体を伸ばしていました。

そして、ついにタップダンスがスタートしました。タップダンス専用の靴（オトタビ）を履き、足を動かさずと思ったよりも大きい音が！子どもたちも「こんな音が出るんだ！」とびっくりしており、ASI-PRO のみなさんに習いながら、様々な足の動かし方・ステップの踏み方などを吸収していました。2時間という子どもたちにとって少し長い時間でしたが、休憩を取りながらも友達・ASI-PRO のみなさんの踊りをみたり、上半身だけまねしてみたり、それぞれのペースで沢山学びを吸収しているようでした！

最後には締めくくりとして1曲のダンスを覚えました。メンバーのじぬっちさんは、いつでも子ども目線・子どものペースに合わせ、1つ1つのダンスを教えていました。子どもたちもそのおかげか、のびのびとダンスを行い、振り付けもどんどん覚えていきました！

いろいろな足の動かし方・振り付けを覚える中で、2時間という時間はあっという間に過ぎていきました。子どもたちに「今日はどうだった～？」と感想を尋ねると、多くの子どもが「楽しかったー！！」と答えてくれました。「どんなところが楽しかった？」と再度尋ねてみると、「いつもと違う靴を履けてよかった！」「タップダンスでいろんな音がでるのがおもしろかった！」などタップダンスそのものを楽しんでくれていたようです。他にも「いろいろな人の名前をおぼえられてよかった！」（ASI-PRO のみなさんの名前を覚えることができた！）という感想もあり、子どもたちと ASI-PRO のみなさんと盛んな交流が行われてい





## あしプロアートノカケラタップダンスワークショップ



ました。

今回のあしプロアートノカケラタップダンスワークショップは、参加する子どもたちも、子どもたちにダンスを教えるメッセンジャーの方々も双方が楽しめるイベントになっていたのだと感じました！

### ☆参加した小学生の声

「テレビでタップダンスのプロを見て自分でもやってみたくてきた!!  
最後の虹のダンスが楽しかったから次は好きな曲でやってみたい」



「タップダンスについて知らなかったけど、ママに聞いてきた。  
連続した音をたんとんするのが楽しかった!! またしたい」



### ☆あしプロさんの感想

学校で行うと授業ぼくなってしまうので、今回はワークショップという形で自由に行うことができよかったです。初めは椅子に座っていた子たちも打ち解けたり、足を動かしたりして興味を示していて面白かったです。普段はYouTubeにて、様々なダンスカバー動画をアップしていますが、プロのメンバーとして活動することがとても楽しいです。

### ☆取材した「知る、伝えるボランティア」の大学生の感想

今回のワークショップを通して、障害を抱える方との関わり方を「助けてあげる」から「お互いに交流する」という形に捉え直すことができました。また、私は大学のゼミでインクルーシブ教育について学ぶ機会があったのですが、今回実際に障害を抱える方と交流することができ、さらに理解を深めるきっかけになりました!!(天野綾子)

子どもたちが触って見て聞いてと様々な感覚を使って吸収している様子や、素直に「タップダンスの先生たちがかっこよかった!」と言っていたのを見て、子どもたちにとって純粋にこのイベントはタップダンスに挑戦してみるきっかけ、新しいこと、新しい人と交流する場として存在していることが嬉しかったです。私自身も一参加者として人と人とが音や表情、リズムなどでつながる貴重な新しい経験ができたと感じます。(今村璃玖)

タップダンスというコンテンツを通じて、小学生たちとあしプロさんたちの間に一体感が生まれたのを感じました。障がいのある方と特別意識することなく、タップダンスを一緒に楽しく行う同士として同じ時間を過ごすことができました。今回のプログラムで言葉でなく、表現でつながる経験になったと思います。(山村陽満里)

知る、伝えるボランティア (天野、今村、山村)

